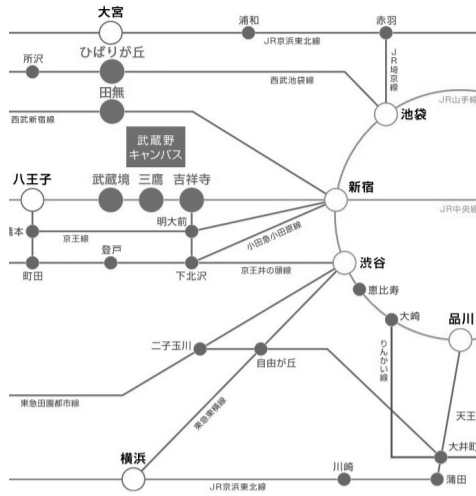


令和6年度 第56回 解釈学会全国大会 要項

期日 令和6年8月24日(土)・25日(日)
主催 解釈学会
後援 文部科学省(申請中)・東京都教育委員会(申請中)・
西東京市教育委員会(申請中)
会場 武蔵野大学 武蔵野キャンパス
〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号
交通 吉祥寺駅(北口1番乗り場よりバス20分「武蔵野大学」下車すぐ)
三鷹駅(北口3番乗り場よりバス15分「武蔵野大学」下車すぐ)
武蔵境駅(北口3番乗り場よりバス10分「武蔵野大学」下車すぐ)
田無駅(北口5番乗り場よりバス5分「至誠学舎東京前」下車徒歩5分)
ひばりヶ丘駅(南口1番乗り場よりバス20分「至誠学舎東京前」下車徒歩5分)
参加費 1,000円
昼食代 1,000円(お茶付) 懇親会 8,000円



8月24日(土) 受付 9:30~10:00
※貴重品以外の荷物置き場: 1204教室
午前の部 10:00~12:40

●研究発表 (2会場)

☆第1会場 1203教室

幸田露伴「伽羅物語」の初出をめぐって

(総合司会: 鶴見大学名誉教授 山田吉郎)
日本学術振興会特別研究員PD(法政大学) 岩谷泰之
(司会: 和洋女子大学准教授 小堀洋平)

川端康成「女性開眼」における少女像

創価大学大学院博士後期課程 伊藤 輝
(司会: 鶴見大学名誉教授 山田吉郎)

石原慎太郎「生還」論—現代文明の発展の功罪と「死生観」の繋がり

関東学院大学大学院文学研究科比較日本文化専攻博士後期課程 杉崎輝久
(司会: 日本大学教授 井上 聡)

「明暗」執筆期の漱石詩における「独」「孤」—使用頻度と用法をめぐって—

日本大学教授 竹林一志
(司会: 熊本県立大学教授 半藤英明)

☆第2会場 1209教室

卒業に向かい、経験と言葉を主体的に結び付ける探究的学習の展開~経験と卒業ソングを結び付ける、単元「My Best 卒業 Song」の実践を例に~

(総合司会: 茨城大学教授 鈴木一史)
佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校 高木公裕
(司会: 茨城大学教授 鈴木一史)

学習者が主体的に読みを創造する国語授業の在り方~『おむすびころりん』音読スーパースターへの道』の実践を通して~

北海道釧路市立中央小学校 長屋樹廣
(司会: 北海道教育大学釧路校教授 佐野比呂己)

「言語文化」における「I was born」発展活動—新聞を活用した「深い学び」を目指して—

東京都立新宿高等学校 石井明子
(司会: 武蔵野大学教授 初谷和行)

解釈の過程において、作品中の「言葉」はどのような働きをするのか—言葉と言葉の関係から見えてくるもの—

桜花学園大学准教授 森川拓也
(司会: 茨城大学教授 鈴木一史)

午後の部 14:00~16:55

●研究発表 (2会場)

☆第1会場 1203教室

漢詩「春暁」教材考—起句「春眠不覚暁」と結句「花落知多少」に着目して—

(総合司会: 元豊田高等専門学校教授 伊藤一重)
狭山ヶ丘高校 樋口敦士
(司会: 元豊田高等専門学校教授 伊藤一重)

☆第2会場 1209教室

山川菊栄「私の受けてきた教育」の教材化をめぐって—単元「生活と記録」との関連から

(総合司会: 群馬大学准教授 河内昭浩)
北海道教育大学釧路校教授 佐野比呂己
(司会: 群馬大学准教授 河内昭浩)

●公開講演 1202教室

講師紹介
公開講演

どのようにして「子どもの読み」に出会うか—
—児童文学研究と国語科教育研究を往還しながら考える—

武蔵野大学名誉教授 宮川健郎

●総会

16:15~17:00

懇親会 吉祥寺東急REIホテル レストラン(吉祥寺駅前) 18:00~20:00

第2日目 8月25日(日)

●実地踏査 文学遺跡めぐり(資料進呈)

○宿泊の申し込みは各自でお願い致します。ご予約はお早めに。
○出張依頼状の必要な方は事務局までご連絡ください。
○本大会への出席は、右のQRコードから8月13日(火)までにお申し込みください。なお、添付はがきの場合は8月13日(火)必着でお願いします。
○本大会に関するご連絡・お問い合わせは下記へお願いいたします。

〒248-0017 神奈川県鎌倉市佐助1-18-21

銀の鈴社内 解釈学会事務局

TEL 0467-61-1930 FAX 0467-61-1931 info@kaishaku.jp

申込QRコード→



解釈学会

日本学術会議協力学術研究団体

解釈学会の機関誌『解釈』は、昭和30年5月創刊の歴史ある国語・国文学・国語教育の専門誌です。学界への登竜門として、広く研究者、教育者の交流の場として、多くの功績を残し現在に至っております。

[会長] 柳田忠則
[副会長] 若林俊英
[創設者] 西下経一・山口正
[顧問] 黄色瑞華・小久保保崇・鈴木良昭・仁平道明
[歴代顧問] 秋山虔・石井庄司・井上謙・佐伯梅友・武田元治・西尾実・長谷川泉・久松潜一・福田清人・福田恆存・古田拓・吉田精一(五十音順)

「解釈」(かいしゃく) 研究誌。昭和30.5~。編集人山口正。教育出版センター発行。解釈学会機関誌。西下経一、山口正が国語科教材の研究を軸とした古典の研究と普及、現代の国語、文学の研究をめざし小、中、高、大学の教員を構成メンバーに解釈学会を設立。会員の自由投稿をたてまえとし、現場の声をたいせつにする傾向で一貫されている。日本近代文学大辞典より 林 武志

解釈学会入会のしおり

○入会手続(入会随時)

入会ご希望の方は下記の事務局までご連絡ください。折り返し、専用の入会申込用紙をお送りいたします。

○年会費 9,000円

解釈学会(郵便振替口座00160-7-353791)宛

○会員の特典

会員のみ投稿できる機関誌『解釈』(年4回刊行)を入会年の第1号よりお届けします。学会活動(全国大会・国際シンポジウム・実地踏査・各種研究会)に参加できます。その都度、誌上にてご案内いたします。

解釈学会事務局

〒248-0017

神奈川県鎌倉市佐助1-18-21

銀の鈴社内 解釈学会事務局

TEL 0467-61-1930

FAX 0467-61-1931

info@kaishaku.jp